

様式

若手研究者育成支援費に係る研究成果報告（ホームページ用）

	(所 属)	(職 名・学 年)	(氏 名)
研究者	京都府立大学大学院文学研究科国 文学中国文学専攻博士後期課程	博士後期課程 1 回生	石原深予
研究の 名称	大正時代末期から昭和初期にかけてのモダニズム文学の研究 尾崎翠を中心に		
研究のキ ーワード	昭和初期の文学 モダニズム 尾崎翠 前川佐美雄 雑誌		
研究の 概要	大正 1 2 年（1 9 2 3）の関東大震災以降から昭和初期にかけて、日本では本格的にモダニズム文学が開花する。当時の新進作家であった川端康成や太宰治から賞賛された女性作家尾崎翠もその担い手の一人である。尾崎翠については近年再評価が高まり新たな読者を獲得しているが、その文学活動がどのようなものであったかは、なお不明な点が多い。また当時の新進モダニズム歌人であった前川佐美雄は、現代短歌の源流と評され昭和を代表する歌人であるが、彼についての研究・調査にはなお余地があり、ことに彼と雑誌との関わりについてはなお不明な点も多い。尾崎翠、そして前川佐美雄を中心として、関東大震災以降から昭和初期にかけての新しい芸術思潮のなかで活動した作家・歌人の動向を調査・研究した。		
研究の 背景	尾崎翠・前川佐美雄の 2 人はすぐれた作家・歌人で、その文学的達成はつとに評価が高い。近年も尾崎翠についての特集が雑誌で生まれ、前川佐美雄の全集も刊行された。しかし 2 人についての研究・調査にはなお多くの余地があり、不明な点も多い。2 人についての再評価の機運が高まっている現在、2 人についての調査・研究を一層進める必要があると考えられる。		

研究手法	大正時代末期から昭和初期にかけて発行されていた雑誌・書籍を調査した。関東大震災以降から昭和初期にかけての時代は、作家たちは商業雑誌に作品を発表するだけでなく、仲間と同人雑誌をさかんに発表していた。商業雑誌のみならず、同人雑誌の調査をとおして、作家がどのような雑誌に関わり、どのような文学仲間と一緒に活動していたのかを調べることに、これまでに知られていない作品および同時代評を発掘、考察すること、作品が雑誌に発表された時と単行本としてまとめられた時との異同を確認すること等は、作家の再評価および文学史の書き換えにも繋がる。
研究の進捗状況と成果	尾崎翠については、雑誌の調査の結果、これまでに知られていない同時代評を発掘した。尾崎翠と、彼女の郷里である鳥取出身の作家との関係は、一層の調査・考察の必要があることが分かった。東京での翠の文学仲間との関係についても興味深い資料を発見した。また、前川佐美雄の関わった雑誌についての調査を進めた。前川佐美雄が編集・刊行した短歌雑誌『日本歌人』およびその前身となる紙誌を調査し、目次集を作成、刊行した。
地域への研究成果の還元状況	『前川佐美雄編集『日本歌人』目次集（戦前期分）』私家版 平成22年2月発行 前川佐美雄は奈良県の歌人で、京都の歌壇にも大きな影響を与えた。前川佐美雄についての調査をすすめることは、京都の近代短歌史研究にも資する。
今後の期待	尾崎翠の代表作の1つである『歩行』についての作品論を完成させ、発表する。雑誌の調査で判明した尾崎翠に関する伝記事項や同時代評について、執筆、発表する。 前川佐美雄については、昭和戦前期の雑誌での活動について、なお不明な点も多いことが判明したので、引き続き雑誌の調査を進める。彼の作品における同時代の芸術思潮との影響関係についても、研究・調査を進め、論考をまとめ、発表する。

研究発表	「尾崎翠『歩行』論 〈悲しみ〉の表現」 近代文学研究会 平成21年12月26日 於 京都光華女子大学
------	--